

住み慣れた地域や自宅で豊かに暮らし続けるための
交流・支え合いの居場所づくり



発行：向こう三軒両隣@くにたち
発行人代表：新井和雄
〒186-0002 国立市東 2-27-11
電話 042-572-9786
FAX 042-576-4641

ご協力ありがとうございました！ 10/19(日)寄贈地のお手入れ(草刈)

10月19日(日)はお天気に恵まれ、東地域をはじめ市内各地から16名(内、中学生3名)の参加があり、東2丁目の寄贈地のお手入れ(草刈)を無事終わることができました。
ご協力頂いたみなさま、ありがとうございました。

寄贈主の故口ッホリング杉山さんが「是非残してほしい」と遺言された松の木ですが、枝が一部枯れてしまっているなど、こちらもお手入れが必要な様子であることがわかりました。



草刈り前

草刈り後



次頁につづく

多世代交流スペースを「ツクル」会(仮称) 2015年3月(予定)

東2丁目の寄贈地に市が事業者を公募して設置を計画している小規模多機能型居宅介護事業所と、併設される地域交流スペース。「よりよい形で実現できるように知恵を出し合いましょう」ということで、これまでに話し合ったり、近隣地域の事例を見学したりしてきました。

「住み慣れた地域でずっと暮らしたい」という願いの実現に向けて、多世代交流も織り交ぜながら活動する事例は、国立の近隣地域に多数あります。これまでに国分寺の「さわやかプラザもとまち」、小金井の「地域の寄り合い所 また明日」、日野の「多摩平団地自治会 さくら喫茶室」、稲城の「高齢者交流の場 押立の家」、立川の「レストランサラ」など、それぞれの地域の実情に合わせた取り組みを見学し、お話をうかがい、ヒントを探ってきました。これらの事例を振り返ると共に、私達の具体的な取り組みの第一歩として多世代交流スペースを「ツクル」会(仮称)を発足したいと思います。

春暖の3月の開催に向けて、冬の間は見学や話し合いの内容を整理して準備したいと思います。場所も現時点では未定ですが、早春には日時と内容とともにお知らせいたします。

それでは、みなさま良い年をお迎えください。



日頃から話しあっていることが大切



「地域交流スペースづくりに向けて みんなで草刈り なう」という横断幕と、道路際でもくもくと草を食べる羊の姿を目に留めて、通りすがりの方が立ち寄ってくださったり、東福祉館の図書室で集まっているお母さん方が口コミでそれぞれ赤ちゃんを連れて羊のアマエルに会いに来てくれたり、今回は多くのみなさんに、以下のような経緯やこれまでの取り組みについて知ってもらうことができました。

- ・この敷地は「高齢者福祉のために、住民同士の交流の場に」と持ち主から市へ寄贈されたこと
- ・小規模多機能型居宅介護事業所が設置され、地域交流スペースが併設されることが、近隣住民説明会で市より伝えられたこと
- ・より良い形で地域交流スペースが実現されるよう、これまで話し合いを開き、地域交流スペースとなる場所に愛着を持ってもらえるよう敷地のお手入れを行っていること

みなさんからは、次のようなご意見や感想が寄せられました。

(こんな地域交流スペースになるといいな)

- ・羊[動物]がいると親子そろって癒される。
- ・家の近くで美味しいコーヒーが飲める。
- ・子育てサークルで集まれる場ができたらうれしい。
- ・子どもも立ち寄れる(居られる)。

(こんな風に取り組めるといいな)

- ・それぞれが得意なことをいかして参加できる。
- ・日頃から話しあっていることが大切。

メールのあて先はこちらまで
活動情報はブログをご覧ください

mukou3ken@gmail.com

<http://mukou3ken.seesaa.net/>